

（1）開会

①開会あいさつ〈校長〉

- ・安定した状態でスタートがきれている。委員の方、地域の方などのご協力のおかげです。
- ・コミュニティースクールを中心とした地域との連携した取組が始まっている。今年度は昨年度の成果を踏まえながら振り返りも含めて実施していきたい。ご助言よろしくお願いします。
- 学校運営協議会委員任命書の交付〈校長から代表でN委員へ〉
- 地域学校協働活動推進委員の委嘱〈校長からA委員、M委員へ〉

②委員紹介〈自己紹介〉

- ・A委員（中学校で支援員として勤務）
- ・K委員（就学前の子どもが通うセンター、学校運営協議会で話することが園でも勉強になる。）
- ・G委員（小学校の校長、交流や居住地交流で関わらせていただいている。）
- ・P委員（保護者代表PTA会長。協議会で勉強したい。）
- ・Y委員（元保護者の代表として意見をたくさん伝えていきたい。）
- ・E委員（前障害者相談支援専門員）
- ・M委員（笠岡自立支援協議会、児童館で勤務）
- ・S委員（医療・高齢の分野を中心に地域に関わっている）
- ・N委員（元本校校長として勤務）

（2）説明

①会長選任 →N委員

②スケジュール説明（副校長）

- ・本日の資料確認
- ・本日の日程および年間の予定を確認

（3）協議1

①令和7年度学校経営計画について〈校長〉資料あり

- ・学校教育目標、昨年度からの変更点を中心に説明
- ・学校経営計画重点目標も昨年度からの変更点を中心に説明（資料を抜粋しながら説明）
 - 今年度から知的障害部門でも抽出型の自立活動に取り組む
 - 大学との協力連携を取らせていただくことになった
 - 委員の方々の協力を得ながら教育活動を行っていきたい
 - 子どもたちと関わる時間を確保するために働き方の工夫・改善。コンプライアンスの遵守
- ・承認

（4）校内見学、校内安全点検

- ・学校での児童・生徒の様子が見ることができて良かった。事業所でスムーズな引き継ぎができる参考になる。（A委員）
- ・小学部から高等部まで見せていただいて、発達段階に応じた教育・支援がなされている。小学校でも個別最適化に取り組んでいるが、ヒントをたくさんいただいた。（K委員）
- ・非常時の防災かばんについて、一カ所で全児童生徒のものを保管できるようになって、とてもわかりやすい。（P委員）
- ・作業学習で左利きの生徒が右利き用のはさみを使用していたので、早急に購入してはどうか。（Y委員）

（5）協議2

①本年度の生徒指導関係の取組について〈生徒指導主事〉

- ・ いじめ対策基本方針についての説明（資料あり）
- ・ 年間計画の説明（学期に1回の学校生活アンケート）
 - シャボテンログ、スタンドバイ、相手に自分の思いを伝える力を大切にしたい。
 - スマホの安全教室が9月から12月に変更
 - 性教育（外部講師）の継続
 - 学校生活アンケート（教師からのハラスメントも把握できるようにする。）
 - ハラスメントをなくすために教員研修を行い、生徒への指導へ生かす。

S委員・・・実際のいじめの案件について教えてほしい。

生徒指導主事・・・いじめに認定される案件はなかったが、スマホ関係のトラブルはあった。

N委員・・・スマホの使用制限はあるのか。

生徒指導主事・・・学校では登校後に預かっている。

A委員・・・ネットトラブルにはほぼスマホが関係している。スクールカウンセラーとの連携が必要である。スマホがないと生活できない子どもが多い。スマホだと周りからは人間関係がどうなっているか見えづらい。

②「セイもんスクール」について

- ・ 昨年度の活動と今後の方向性の確認〈副校長〉
 - コミュニティースクール、地域活用プロジェクト、防災安全プロジェクトの振り返り。
 - 今年度は地域にもっと浸透させていきたいということで、より親しみやすくなるよう名称を「セイもんスクール」とする。活性化プロジェクトとして「学校セイもんプロジェクト」「地域セイもんプロジェクト」と命名し、校内外で整理した。

③④グループ協議・発表

地域セイもんプロジェクト

- ・ 児童生徒が公民館での認知症カフェ（月2回）で接遇体験（クッキー、コーヒー）や販売体験
- ・ 児童生徒が大井地区の一人暮らしのお年寄りに野菜などの配付（年2、3回）
- ・ 児童生徒が夏のボランティア体験のように小さい子ども達と遊ぶ体験
- ・ 児童生徒の作業学習製品の販売場所拡充
- ・ 児童生徒が偕楽園での喫茶に参加（偕楽園がバス停まで送迎することも可能）

学校セイもんプロジェクト

- ・ 地域の方と児童生徒と一緒に、さつまいも等の苗植え、収穫
- ・ 「セイもんマルシェ」児童生徒が校内特設会場で地域の方に販売活動を実施
- ・ 環境整備へ学校支援ボランティアの協力、ゲストティーチャーとして伝統行事のサポートなど

（7）提言 各委員より

K委員：先日運動会を見させていただいた。一人一人の子どもに対しての課題を工夫されている。輝ける場面を作ろうと努力されていることがよく分かった。療育を振り返る良い機会となった。

G委員：参加させていただいてありがたかった。今後一緒に連携できることを考えていきたい。

P委員：防災カバンが1カ所に集まったことは良かった。

Y委員：支援学校が開かれた学校になっていることが良かった。

E委員：地域の方が色々な情報をすぐに提供してくれて活動に広がることが良かった。

M委員：コミュニティースクールが段々と形になっていることが良かった。

S委員：今後も平時な時も有事な時も協力していきたい。

A委員：子ども達の笑顔は大人の活力になる。協議会もわきあいあいとしてきて良かった。

N委員：次回から時間の使い方も工夫していきたい。より委員の皆さんの意見が出るように

閉会のあいさつ（会長）

- ・ 閉ざされた学校、山の上の学校というイメージから地域との繋がりを広げていけたらよい。